

# 03

## オムニクロマフロー 明度の高いクラスⅢの症例

大谷一紀先生  
OTANI KAZUNORI

東京都/  
大谷歯科クリニック  
青山ホワイトリア



患者は5年前に左上2のクラスⅢ窩洞に充填されたコンポジットレジンが脱離で来院された。左上2はホワイトニングの既往があり比較的明度の高い歯であるため、先にオムニクロマフロー ブロッカーを充填後、オムニクロマフローを充填した。



図1 術前。脱離した窩洞にはカリエスが確認できた。明度が高い歯である。



図2 ラバーダム防湿。



図3 ラウンドバーを低速回転で使用し、カリエス除去を行った。



図4 充填補助器具を装着。



図5 オムニクロマフロー ブロッカーを高底に充填し、着色したデンチンを遮蔽。



図6 オムニクロマフロー ブロッカー充填後、光照射を行った。



図7 次に、オムニクロマフローを充填する。



図8 光照射後。



図9 術後。

## オムニクロマフロー クラスⅡの症例

患者は左下4の冷水痛を主訴に来院した。比較的小さな窩洞ではあるが、充填後の隣接部が暗くなるのを回避するために、オムニクロマフロー ブロッカー充填後にオムニクロマフローを充填した。



図1 術前 左下4遠心部にカリエスを認める。



図2 カリエス除去後、ラバーダム防湿を行った。



図3 ボンドマー ライトレス塗布。



図4 エアによる乾燥。



図5 オムニクロマフロー ブロッカーを約0.5mm 充填後、光照射を行なった。



図6 続けて、オムニクロマフローを充填した。



図7 術後。